

令和5年6月県議会付議案件について

※現在作業中であり未確定

I 予算

1. 予算規模（一般会計） 補正額 349 億円
(うち、物価高騰等緊急対策 31億円)

2. 主な事業

(1) 物価高騰等緊急対策（31億円）

- ・LP ガス料金高騰対策支援事業
- ・クリーニング業燃料費高騰対策事業
- ・医療・社会福祉・保育施設等物価高騰対策支援事業
- ・物価高騰を乗り越える事業者支援事業
- ・学校給食費等負担軽減事業

(2) ふるさとの元気（118億円）

- ・「食パラダイス鳥取県」お食事クーポン事業・・・1億円
- ・バス旅行商品支援
- ・畜産経営緊急救済事業・・・3億円
- ・交通事業者物価高騰対策支援事業・・・5,700万円
- ・エネルギー・原材料価格高騰対策事業・・・620万円（利子補助）
- ・生活困窮者光熱費等支援事業・・・14.4億円
- ・公衆浴場原油価格高騰対策事業・・・310万円
- ・鳥取県みどりの食料システム戦略推進事業・・・2,100万円
- ・学校・福祉施設等、給食への地産地消率向上支援事業・・・500万円
- ・県産生乳海外販路拡大支援事業・・・1,000万円
- ・人材確保強化戦略事業・・・90万円

10年後の県内経済成長目標（製造品出荷額1兆円、県内GDP2兆円等）達成に向けたボトルネックである人手不足問題、県内産学金労の代表等で構成する戦略会議、実務的な議論を行うワーキンググループにおいて必要な議論を行う。

- ・鳥取砂丘月面化・宇宙産業創出事業・・・3,400万円
- ・スタートアップ創出加速化事業・・・2,160万円

今後の県内産業の担い手となるスタートアップの育成を推進。県内外における起業家予備軍の発掘、育成。

- ・今から備える！事業承継準備支援事業
「5年、10年先の円滑な事業承継」実現につなげるため、事業承継に向けた講座、第三者承継マッチング、事業承継支援人材の育成等を実施
- ・2024年問題に向けた持続可能な物流機能確立事業・・・4,500万円
荷主と運送事業者が協力して実施する「ホワイト物流運動」の推進
- ・境港国際物流ハブ機能活性化事業・・・約2,510万円
- ・価格適正化と賃金アップによる経済の好循環推進事業・・・10,550万円
価格適正化や賃上げによる経済の好循環を実現していくため、生産性向上や労働能率の増進によって賃上げを実現する各種投資や働き方改革を行う中小事業者を支援する。

【移住3,000人】

- ・【移住者3,000人達成プロジェクト】若者目線の人口減少対策事業・・・約4,600万円
デジタル技術を活用して鳥取と関わる機会を創出するなど、IJUターンを促進する。
- ・移住定住受入体制整備事業・・・500万円
- ・「地域の魅力×インターンシップ」拡大推進事業・・・約1,150万円
大学3年生以上のインターンシップが就職活動に直結することから、低学年向けの「地域の魅力を体感できる」プログラム、高学年向けの「就職につながる」プログラムの魅力向上に向けた企画作成を支援する。
- ・地域と取り組む高校学生寮等整備事業・・・約700万円
智頭農林高校で寮を整備するほか、県外生徒等の受入れに向けた住環境を整備する。

【新たな観光需要獲得】

- ・国際定期便再開に向けた緊急対策事業・・・5,000万円
1日も早い国際定期便再開を目指し、定期便再開・新規就航に向けた国際チャーター便への支援を充実・強化する。
- ・アドベンチャーリズム等を活用した高付加価値なインバウンド誘客事業・・・2,000万円
本県の豊かな自然を活かしたアドベンチャーリズムの強化、高付加価値旅行者等の多様な客層の誘客促進を図る。

【地域高規格道路などインフラ】

- ・地域高規格道路整備事業（公共事業）・・・15億円
- ・倉吉関金道路（2期区間）道路調査費（公共事業）・・・3,000万円
- ・岩美町道陸上中央線代行事業事前調査費（公共事業）・・・550万円

【県立美術館年間20万人】

- ・県立美術館利用者20万人達成プロジェクト事業・・・1,580万円
開館記念、開催準備とプロモーションを展開する。
- ・県立博物館改修整備検討事業・・・2,570万円
県立博物館の改修のための見直し検討に着手

【SDGs 推進等】

- ・ みんなでやろう！SDGs 実践応援事業・・・1, 100万円
SDGs の普及・実践拡大につなげていく。健康づくり、地産地消、環境イニシアティブ推進に係るイベント等への参加者にSDGs 実践応援ポイントを付与する。

(3) 健康・安心（19億円）

【鳥取県版CDC】

- ・ 鳥取県感染症対策センター（鳥取県版CDC）設置運営事業
新型コロナウイルス感染症対策の経験を踏まえ、次の感染症危機に対応するため、鳥取県感染症対策センターを設置し、平時においては、感染症対策を担う人材育成、調査分析、情報発信等を充実させ、有事においては即時に感染症危機対応を行う。

【更年期障がい・認知症等専門対策】

- ・ 更年期障がい医療提供体制整備事業・・・330万円
- ・ 認知症サポート官民連携事業・・・350万円

【訪問看護充実】

- ・ 在宅医療推進に向けた訪問看護強化事業・・・2, 660万円
「訪問看護対応 500人」の体制を確保、訪問看護ステーションの機能強化を図る事業所等を支援する。

【孤独・孤立解消】

- ・ 孤立対策の支援強化事業・・・1, 680万円
- ・ 当事者・家族等の支援事業・・・650万円
同じ困りごとを抱える本人や家族は細かな対応が可能である。ピアサポート活動立ち上げ経費、活動費を支援する。
- ・ ひきこもり対策推進事業・・・約1, 910万円
「とっとりひきこもり生活支援センター」の相談員の増員、支援体制及び相談体制の強化、ひきこもりの状態にある方の就労を支援する。

【買物環境確保】

- ・ 買物安心確保事業・・・10, 000万円
「買物環境確保計画」に基づいて実施する買物環境確保に向けた対策を支援する。

【観光列車・鳥取型 MaaS による地域交通確保】

- ・ 鉄道等地域交通維持・活性化事業・・・5, 923万円
県東部圏域における圏域全体のまちづくりと連携した地域交通の利用促進を目的とした先行事例調査等を実施する。

【自然共生サイト、再エネ50%】

- ・とっとり健康省エネ住宅普及促進事業・・・1,670万円

とっとり健康省エネ住宅「NE-ST」の普及を更に推進、住宅評価プログラムの作成や親子向けNE-ST体感イベント開催。

【皆伐再造林150ha、花粉発生源対策】

- ・花粉発生源対策促進事業（公共事業）・・・14,250万円

スギやヒノキの人工林を花粉対策品種・樹種への転換を促し、少花粉スギ・ヒノキの発芽率を向上させる研究を実施する。

【ジオパーク、ナショナルサイクルルート挑戦】

- ・山陰海岸ジオパーク魅力強化事業・・・1,765万円

山陰海岸ジオパークの魅力を強化。案内看板にQRコードを付し海底など直接見ることができない景色をARコンテンツとして提供する。

- ・ナショナルサイクルルート挑戦事業・・・1,042万円

【犯罪被害者支援検討】・・・86万円

犯罪被害者への支援施策や支援体制等を検討するため、支援団体や学識経験者、被害者団体、市町村等で構成する検討会を新たに設ける。

【国民保護、防災DX、事前伐採、大雪支え愛活動等】

- ・国民保護のための緊急時即応能力強化事業・・・255万円

ミサイル発射時にシェルターの代替となり得る施設について市町村や各業界団体等と連携して洗い出すほか、住民避難訓練や適切な避難行動を取るための広報を実施する。

- ・防災・減災のための事前伐採・倒木緊急除去推進事業・・・6,500万円

- ・大雪支え愛活動推進事業・・・300万円

大雪時の立往生対策を推進するため、ドライバー支援（炊き出しの実施、トイレの提供等）を行う地域、市町村を通じて活動費等を支援する。

- ・中山間地域の医療人材確保対策検討事業・・・150万円

- ・フードロス削減キャンペーン事業・・・300万円

(4) 人・暮らし (5.6億円)

【県全域でこどもの医療費完全無償化】

- ・こどもの医療費完全無償化事業・・・800万円

【「シン・子育て王国」、カップル倍増】

地域における子育ての機運醸成を図るため、妊娠・出産・子育てを支援する企業・団体を「とっとり子育てプレミアムパートナー」として登録。「シン・子育て王国とっとりフェス」を開催する。

- ・保育人材緊急確保事業・・・4, 430万円
- ・産後ケア実施のための施設整備支援事業・・・750万円
新たにデイサービス型施設の整備を支援するとともに、宿泊型施設整備、産後ケア無償化を支援する。

【とっとり若者活躍推進】

「とっとり若者活躍局」を設置し、「移住定住」や「子育て」など持続可能な未来に向けた諸課題に対する解決策等の提言や情報発信を行う。若者の主体的な活動、地域づくりチャレンジを支援する。

・コンテンツビジネス創出

「とっとりクリエイターズ・ビレッジ」プロジェクト事業・・・5, 520万円

リモートワーク等の働き方の多様化、関係人口の創出による新たな可能性に着目し、新たな産業としてデジタルコンテンツ分野の創出を図るため、クリエイターの集積、人材育成、他分野への展開等を行う。

・ファミリー向け幼稚園等留学受入事業・・・233万円

ワーケーションや副業・兼業を通じた関係人口を拡大するため、県内幼稚園等での短期受入

【医療的ケア児・強度行動障がい児者への先導的支援】

・医療的ケアを要する重度障がい者の地域生活推進事業・・・950万円

看護職員等が医療的ケアやバイタルチェックを実施しながらサービスを提供するグループホームの運営に必要な経費を支援する。

・医療的ケア児等の送迎支援事業・・・1, 846万円

福祉車両タクシー利用及び看護師付添いの費用を支援する。利用環境整備を目的としたタクシー事業者の送迎研修、車両購入を支援する。

【不登校対策】

・学習端末を活用した不登校未然防止対策事業・・・1, 070万円

【全国トップクラス配置ALTの活用やDXによる学力向上】

・ALT等を活用した英語によるコミュニケーション能力向上事業・・・1, 594万円

全国トップクラスの配置数となっているALTがカリキュラムで実施している優良授業を動画撮影し、市町村教育委員会へ活用を働きかけるとともに、英語を使ったコミュニケーションの場を創出する。

【手話フェス、新たな工賃向上プラン、あいサポート強化】

・手話言語条例発祥の地とっとり手話フェス開催事業・・・3, 363万円

・新たな工賃向上プラン検討強化事業・・・97万円

新たな工賃向上プランの策定に向けて、検討委員による先進事例視察、検討委員会への専門家招聘を進める。

【多様な性の認め合い、参加型自治モデルの確立等】

- ・鳥取型多様な性を認め合う社会づくり研究事業
- ・投票率低下防止等に向けた政治参画のあり方研究会運営費・・・188万円

投票率の低下や地方議員の成り手不足が深刻化している。県民の政治参加促進を目指す研究会を発足させ、課題解決に向けた施策につなげる。